

佐々木隆『書誌から見た日本ワイルド受容研究（現代編）』イーコン、平成25年12月  
はじめに, pp. 7-8

#### 第1章 平成期とワイルド

- (1) 平成という時代, pp. 9-10
- (2) 世紀末とワイルド
  - ①19世紀末, p. 10
  - ②20世紀末, pp. 10-11
- (3) ワイルド没後100年を巡る動向, pp. 11-12
- (4) 21世紀のワイルド, p. 12

#### 第2章 『サロメ』研究

- (1) 『サロメ』の一般の捉え方, p. 13
- (2) 山川鴻三『サロメー永遠の妖女ー』（1989）, pp. 13-14
- (3) 井村君江『「サロメ」の変容ー翻訳・舞台』（1990）, pp. 14-16
- (4) 利倉隆『エロスの美術と物語 魔性と女と宿命の女』（2001）,  
pp. 16-17
- (5) 工藤庸子『サロメ誕生』（2001）, pp. 17-19
- (6) 井村君江『サロメ図像学』（2003）, pp. 19-21
- (7) 大鐘敦子『サロメのダンスの起源』（2008）, pp. 21-23
- (8) その他, pp. 23-31

#### 第3章 ダンディズムとワイルド

- (1) 「ダンディズム」とは何か, pp. 32-35
- (2) 山田勝『ダンディズム 貴族趣味と近代文明批評』（1989）,  
pp. 35-37
- (3) 前川祐一『ダンディズムの世界』（1990）, pp. 37-39
- (4) その他, pp. 39-41

#### 第4章 世紀末研究とワイルド

- (1) 世紀末とは, pp. 42-43
- (2) ジャクソン／澤井勇訳『世紀末イギリスの芸術と思想』（1990）,  
pp. 44-49
- (3) 鳥海久義『ラファエル前派と世紀末』（1993）, pp. 49-50
- (4) シュモル＝アイゼンヴェル／種村季弘監訳『世紀末』（1994）,  
pp. 50-52
- (5) 前川祐一『イギリスのデカダンス』（1995）, pp. 52-54
- (6) 出口保夫編『世紀末のイギリス』（1996）, pp. 54-57
- (7) 富士川義之『英国の世紀末』（1999）, pp. 57-60
- (8) 新谷好『英国世紀末文化とオスカー・ワイルド』（2013）, pp. 60-61
- (9) その他, pp. 61-64

## 第 5 章 作品研究

- (1) 木村克彦『ワイルド作品論』(1991), pp. 65-66
- (2) 梅津義宣『オスカー・ワイルドの短篇小説』(1992), pp. 66-67
- (3) 鈴木ふさ子『オスカー・ワイルドの曖昧性』(2005), pp. 67-70
- (4) その他, p. 70

## 第 6 章 美学研究とワイルド

- (1) 日本の美学研究 100 年, pp. 71-77
- (2) 日本の美学受容史, pp. 78-80
- (3) Nancy G. Hume, ditor. *Japanese Aesthetics and Culture* (1995), pp. 80-81
- (4) Michele Marra. *Modern Japanese Aesthetics: A Reader* (1999), pp. 81-84
- (5) Steve Odin. *Artistic Detachment in Japan and the West* (2001), pp. 84-86
- (6) Michele Marra. *A History of Modern Japanese Aesthetics* (2001), pp. 87-91
- (7) その他, pp. 91-94

## 第 7 章 博士論文

- (1) 学位としての博士, pp. 95-96
- (2) 日賀野友子『オーブリ・ヴィンセントピアズリー研究』(1998), pp. 96-99
- (3) 玉井暉『イギリス世紀末文学におけるテキストと言語—ペイターとワイルド』(2000), pp. 99-102
- (4) 鈴木ふさ子『オスカー・ワイルドの曖昧性：その作品にみられるキリスト教的要素とデカダンス』(2003), pp. 103-105
- (5) 大淵利春『オスカー・ワイルド研究：芸術と人生の問題を中心に』(2003), pp. 105-106
- (6) Kaneda, Masahide. *Beyond the border: Language and sexuality in Oscar Wilde's work* (2004), pp. 107-109
- (7) Ogane, Atsuko. *L' «Appareil scientifique» et la symbolique polyvalente—Le rite du sacrifice ou la danse de Salomé dans Hérodias de Gustave Flaubert* (2005), pp. 109-113
- (8) Kiriya, Keiko. *Studies of the Fantastic Boundary in Oscar Wilde and Marie Corelli* (2005), pp. 113-119
- (9) Miyata, Rinako. *Oscar Wilde and Class* (2007), pp. 119-121
- (10) 小坂咲子『リヒャルト・シュトラウスの管弦楽法研究：「管弦楽法論」に基づく《サロメ》分析と未完成交響詩《ドナウ》補作から』

(2007), pp.121-125

第 8 章 ワイルド翻訳

- (1) ワイルド全集, pp. 126-128
- (2) 翻訳, pp. 128-136

第 9 章 ワイルド劇上演

- (1) おもな上演, pp. 137-139
- (2) 多様化した上演, pp. 139-141

第 10 章 日本ワイルド協会とワイルド没後 100 年

- (1) 日本における学会, pp. 142-144
- (2) 日本ワイルド協会, pp. 144-145
- (3) 山田勝編／日本ワイルド協会協力『オスカー・ワイルド事典』  
(1997), pp. 145-147
- (4) 富士川義之・玉井暲・河内恵子編『オスカー・ワイルドの世界』  
(2013), pp. 148-150
- (5) 日本ワイルド協会と私, pp. 150-152

第 11 章 ワイルド特集

- (1) 代表的なワイルド特集, pp. 153-156
- (2) 周辺分野の特集, pp. 156-157

第 12 章 大学紀要論文

- (1) 1989 年～1993 年まで, pp. 158-169
- (2) 1994 年～1998 年まで, pp. 169-177
- (3) 1999 年～2003 年まで, pp. 177-192
- (4) 2004 年～2008 年まで, pp. 192-201

第 13 章 受容研究・比較文学研究

- (1) 実践女子大学図書館編『実践女子大学図書館所蔵 オスカー・ワイルド文献目録』(1989), pp. 202-203
- (2) 井村君江『「サロメ」の変容—翻訳・舞台』(1990), pp. 203-204
- (3) 堀江珠喜『薔薇のサディズム』(1992), pp. 204-205
- (4) 山田勝編『オスカー・ワイルド事典』(1997), pp. 205-207
- (5) 清水義和『ショー・シェークスピア・ワイルド移入史』(1999),  
pp. 207-209
- (6) 佐々木隆『書誌から見た日本ワイルド受容研究』シリーズ,  
pp. 209-213
- (7) 日本ワイルド書誌, pp. 214-222
- (8) 佐々木隆『日本ワイルド総覧』他, pp. 222-226
- (9) 平田耀子の本間久雄研究, pp. 226-228
- (10) その他, pp. 228-233

第 14 章 情報社会におけるワイルド

(1) 情報社会と ICT, pp. 234-237

(2) ウェブ上のワイルド情報, pp. 237-240

おわりに, pp. 241-247